



6月下旬から7月中旬までは梅雨らしい雨が続く天候に見舞われ、晴れの日も少なくじめじめと蒸し暑い日々が続きました。長雨の影響で、生育の不順が多く見られました。また湿害と思われる生育不良も若干ですが、発生していました。あと少しで梅雨明けとなり、最高気温が35℃を超える猛暑日がつづくと予報されています。今後は大変暑い中での管理となっていきますが、熱中症に気をつけながら頑張っていきましょう。

1. 現地研修会『中間管理編』を開催しました！

●第1回研修先：東郷中島圃場にて開催（7月10日）



●第2回研修先：東安居 下市圃場にて開催（7月17日）



第3回目研修は7月23日美山 美里ファームで開催



1. 今年も虫が多い予報！被害に気をつけてください



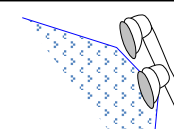
【ハスモンヨトウの被害】



【アワノメイガの被害】

農薬防除の一例

- ・パダンSG水和剤 1500倍
使用時期：収穫7日前
使用回数：5回以内
- ・プレバソンフロアブル5 2000倍
使用時期：収穫前日
使用回数：3回以内



農薬防除や捕殺の徹底！

2. 根茎腐敗病に注意しましょう！

【根茎腐敗病が発生した株】



茎の地際部が変色してやがて茎や葉も黄化し、茎が倒れ枯れる。また、腐ったにおいがする。

●水をやりすぎない。一度に大量にかん水せず、こまめにな水やりをする。

●圃場の排水対策を徹底する。

●被害株はすぐに抜き取り、圃場外で処分する。また、根茎腐敗病が発生したら、被害が拡大しないよう、予防的に農薬防除を行う。

農薬防除の一例

- ・ランマンフロアブル 500倍（予防効果）
使用時期：生育期（ただし、収穫30日前まで）
使用回数：3回以内
使用方法：土壌灌注（使用量 100～300ℓ/100㎡ 株元に灌注）
- ※病気になったものは治らないが、蔓延防止のため防除を行う



『ショウガを元気に！観察し対策をしましょう！』

- 葉色が薄くなる前に追肥。肥料切れになると葉色が薄くなってきます。よく観察しましょう。
- 葉色が薄くなると根茎が肥大しにくくなるので、新葉の緑色が抜けないように追肥します。
- 豪雨と猛暑が続くとショウガが弱ります。ケイ酸加里等を散布しショウガを元気に！
- 梅雨明け以降のショウガの状況や天候次第では、3回目の追肥も実施する。